

フードバンク狛江 ニュースレター



発行：NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 MAIL : info@fb-komae.org

「食の分かち合い」を地域に広げるために 3年ぶり団体交流会開催

10月28日(金)「フードバンク活動でつながる狛江の団体交流会」を開催しました。3年前の参加団体は18、今回は34(狛江市の関係部署を含む)と、2倍近くに増えました。食品寄贈や寄付をしていただく団体と、食品提供を受ける子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者の支援や地域活動に取り組む団体が、直接顔を合わせて互いを知ることが目的としました。参加された団体からは「さまざまな団体の活動を知ることができて良かった」「ぜひ来年もやってほしい」という声もいただき、短い時間でしたが地域のつながりを実感できました。コロナ禍で今回お声がけをすることができなかった企業・団体や個人の皆さんとも、次回の交流会で「食の分かち合い」の想いを共有していけたらと思います。



給食のない冬休み、食の分かち合いで子育て応援 困窮する子育て世帯の子どもたちに食べ物を届けよう！



食料品をはじめ物価の高騰が続き、私たちの暮らしが厳しくなっています。クリスマスやお正月を迎える12月、夏休み支援に申し込まれた子育て世帯と、市からひとり親等医療証を受けられる方を対象に食料支援を実施します。市民や企業から食品等の寄付を募り、低所得で子育てしている家庭を食の支援で応援します。賞味期限が1カ月以上ある常温保存の食品等のフードバンクへの寄贈をお待ちしています。

10月食品ロス削減月間の取り組み

10月17～21日、市庁舎2階ロビーでのパネル展示で、「食品ロスを減らし、活かす社会へ！」をテーマにロス食品をフードバンクで活かそうと呼びかけました。国連 WFP のパネルを展示し、世界の飢餓と日本の貧困問題、食品ロスの現状やフードバンクの食品を生活困窮自立支援に活かす「こま YELL の活動紹介」を行いました。日本では、本来食べられるのに捨てられてしまう食品＝食品ロスが、2020年度に年間522万トン(推計)発生しています。これは、国民1人あたりに換算すると、毎日ご飯茶碗1杯分を捨てている計算です。

食品ロスを減らし、活かす社会へ！

フードバンク狛江は1と12のSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます！

- 1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 12. つくる責任つかう責任
持続可能な生産と消費・食品ロス削減



食品ロス削減月間は、「食品ロスの削減推進法」で10月を「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められています。

【活動報告】

9月

- 8日 東都生協フードドライブ品受取り
- 17日 「くらしフェスタ」でフードドライブ
- 17・18日 「こまエコまつり」でパネル展示
- 22日 ダイエー本社が合意書協議で来訪
- 27日 福祉相談課と団体交流会で協議

10月～食品ロス削減月間～

- 1日 お米の「おすそ分け」お渡し会
- 13日 近隣フードバンクとオンライン会議
- 17～21日 狛江市庁舎でパネル展示
- 22日 福祉カレッジで理事長講演
- 28日 第3回 団体交流会開催

11月

- 14日 ニュースレターNo.33 発行
- 18日 こまラジ出演
- 24日 冬休み支援第一次申し込み開始

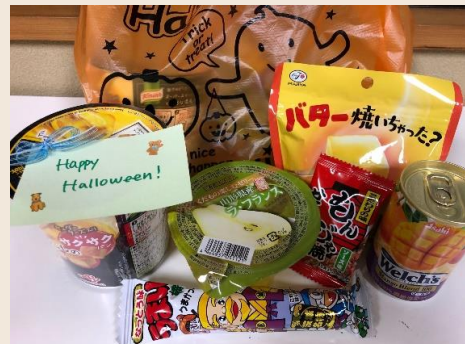
【今後の予定】

12月

- 1日 冬休み支援第一次申し込み締切
- 9・10日 冬休み支援お渡し会
- 21日 冬休み支援第2次申し込み締切
- 26日 仕事納め



狛江市の自立支援窓口『こま YELL』と、子ども政策課のひとり親家庭等への学習支援を受ける子どもたちに年4回(夏休み、ハロウィン、クリスマス、進級・進学時)お菓子や飲み物を提供しています。10月は54人の子どもたちにハロウィンのお菓子セットを届けました。『こま YELL』の担当者から「いつも、可愛いジャックオーランタンの袋や工夫を凝らしたお菓子など感謝しています。」「中学生になると、ちょっと恥ずかしいのリュックに入れる子もいますが、みんな袋を別に持って、嬉しそうに中身を覗きながら帰っていきます。」とご報告があり、楽しみにしている子どもたちの様子が分かります。子どもたちの学習意欲につながるよう、年4回だけでなく頻度を上げてお渡しできないか検討しています。



近隣フードバンクとオンライン会議開催

ダイエーグループ各店舗で実施するフードドライブの食品寄贈について、近隣のフードバンクで受け入れ確認のため、10月13日オンライン会議をしました。設立9年目の「フードバンクかわさき」、4年目の「フードバンク調布」、3年目の「フードバンクみたか」、1年目の「フードバンクむさしの」と近隣に広がったフードバンクの仲間たちとは、食品シェアの件で連絡を取り合うものの、コロナ禍で交流が叶いませんでした。今後お互いの活動や課題を突き合わせていく契機にしていきたいと思います。



Amazon ほしいもののリストづくりました

フードバンク狛江では、インターネット通販サイト Amazon のほしいもののリストを活用し、皆様からのご寄付を受け付けています。生活困窮者支援に係る活動や運営に必要な物品や機材などがリストされています。ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。なお、匿名配送となりますため、当団体でお名前を把握できません。ご迷惑でなければ発送後、ぜひご一報ください。



9月～10月 寄付・食品寄贈でご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました！

■食品の寄贈(敬称略): 狛江市商工会青年部/3色パステルアート/天理教江東分教会/東京すずらんの会/堀口珈琲/東都生協調布センター/生活協同組合コープみらい東京本部/生活協同組合コープみらい調布染地店/華嚴院(町田)/ダイエー三軒茶屋店・イオンフードスタイル/ダイエー幡ヶ谷店/フューディアム下北沢/グルメシティ三鷹中原店/グルメシティ神代店/グルメシティ武蔵境店/コカ・コーラボトラーズジャパン(株)/PayPay(株)/ユウキ食品(株)/栗山設備(株)/(株)小田急 SC ディベロップメント/正受院(北区)/生活クラブフードバンク/パークレイズ証券(株)/狛江三田会 他、企業・市民の皆様(231名)より約4.1トン。

■お金の寄付: 延べ 42 名の皆様から総額約 24 万円の寄付を頂戴しました。



理事長コラム 田中妙幸

10月22日(土)狛江市社会福祉協議会主催の福祉カレッジで、半年ばりに活動を再開しました。『こま YELL』の事業報告に続いて 30 分の話に、

「感銘を受けた」と声をかけられ、「セットしている食品がどう使われているかよく分かりました」と、この講座を聞いてもらったボランティアさんの感想にも励まされました。その後の 28 日(金)の夜、50 人以上が集まった「フードバンク活動でつながる狛江の団体交流会」にも何とか間に合って参加でき、「おかえり」「よかった復帰…」との声もいただきました。脳幹梗塞のふらつきがあって、以前のように立ち、働けませんが、できる活動を模索しようと思います。小耳にはさんだことで、来年初春には、駒井町に一軒家を市が借りて、ここでも多世代の居場所事業が始まり、西野川の団体事務所の近くでも、活動でつながる団体が一軒家を借りて居場所喫茶が始まりそうです。小さな街だからこそ、いろいろなところで声をかけあって支えあう市民のつながりをつくっていけるように思い、わくわくが止まりません。



NPO 法人 フードバンク狛江 事務所・倉庫
〒201-0001 狛江市西野川 1-16-7
開所日: 毎週月曜・木曜 13 時～17 時
Facebook: 「フードバンク狛江」で検索



※正会員・賛助会員・マンスリーサポーターを随時募集しています。